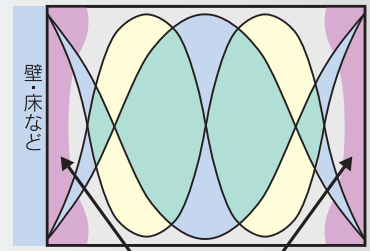




今までに感じた事の無い音楽性の再現。ルームチューニングで、音響空間へのこだわりを。

オーディオは、電気信号を空気振動に変換し、任意の距離を置いて耳に届きます。では、現在オーディオユーザーは、より良い音楽（音質）を求めてチューニングする中で、①機器のグレードアップ、②配線のグレードアップ、③電源のチューニング、④振動系のチューニングなど、いずれも電気信号系、またはそれに関わる間接的なチューニングで、多大な時間と費用を費やしているのではないのでしょうか。今日のオーディオライフでは、スピーカーから後の空気振動のチューニングがあまりに疎かになっています。電気信号経路も、空気振動経路も音の通う道であり、いずれも音質・音楽に対して、非常に重要なファクターです。当社はルームチューニングの重要性を再認識し、また吸音材、反射材など、他のチューニング材のデメリットを根本的に方式改善し、今までに感じた事のない音楽性の再現、音場の空間表現、音楽のハーモニクスなどを体験することが出来ます。

定在波(低域 fo ~ 200Hz 付近)の図式



当社のディフューザーやチャンバーの有効ポイント

アコースティックチャンバー (フロアタイプ)

ルームアコースティックで全く新しい方式で定在波をリアルタイムにコントロールし、デメリット無く音場修正できる画期的なアコースティックチャンバー。「不思議箱」「ブラックボックス」などユーザーの方に呼ばれている RAC-100 の大型モデル。

RAC-100 では処理しきれない場所も、RAC-900 ならフロアタイプなので、リスニングポイントの高さの定在波もコントロール出来ます。音離れの悪い音や、帯域の伸び悩みなども、ダイナミックでクリアな高S/Nサウンドに生まれ変わります。

- 仕様 / 3ポート定在波コントロール方式
- 寸法 / W195mm × H950mm × D300mm
(チャンバー部 W100mm × H930mm × D250mm)
- 仕上げ / 黒サランネット張り(下部木製台付き)

RAC-900 (2台1組)

RAC-900セッティング一例



■ RAC-900 ■ 定在波

※基本的には①SFC-HD②SFS-HD、SFT-HD で補えない場合に③RAC を使用します。

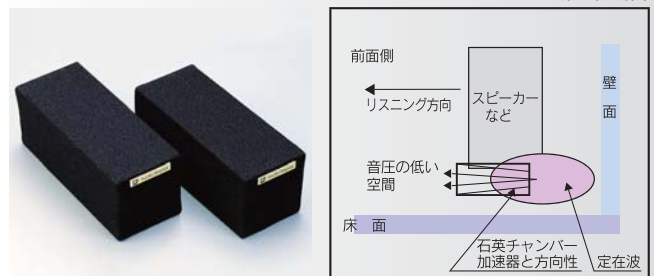
アコースティックチャンバー

ルームチューニングの中でも全く新しい方式を用い、音質を最も左右する最大の敵である定在波をコントロールし、理想の音場を再現します。定在波をコントロールするにあたって、音圧の高いフィールドから低いフィールドがあり、その間に方向性を付け、音圧の流速速度を高め、そして全てのレンジにおいて低歪みかつフラットな音圧特性を得ました。方向性は形状によって行い、音圧の流速速度の加速媒体に石英ガラスを使用すると同時に、材質の中で類を見ない特性を取得しました。また整音材として石英ウールを使用し、従来の吸音材の欠点である歪み及び、固有の音色を完全に排除出来ました。サウンドの変化は聴感上ストレスが無くなり、全レンジにおいてスピードを感じるようになります。またS/N比も向上するのでダイナミックでクリアなサウンドに仕上がります。

- 仕様 / 1ポート定在波コントロール方式
- 寸法 / W100mm × H100mm × D250mm
- 仕上げ / 全面サランネット張り

RAC-100 (2台1組)

RAC-100原理説明図



使用方法

定在波の発生する空間に置くだけの簡単なセッティングで、オーディオ機器周辺だけでなく、ルーム内であれば家具やコーナーなどの隙間にも効果があります。

※価格は別紙プライスリストをご確認ください